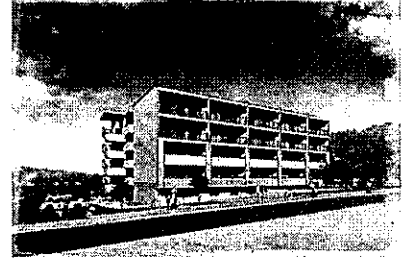


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	市営住宅 タケ丘団地	階数	地上5F
建設地	宮津市宇須津 1834-3の一部、183	構造	RC造
用途地域	区域区分非設定・防火指定なし	平均居住人員	102人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年3月20日
敷地面積	4,442㎡	作成者	伊地知 光彦
建築面積	941㎡	確認日	2018年3月20日
延床面積	2,995㎡	確認者	伊地知 光彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	65%
③上記+②以外の	65%
④上記+	65%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.0
温熱環境	2.9
光・視環境	3.6
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.4
耐用性	2.8
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	3.0

LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

建物外皮の	2.0
自然エネ	2.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	4.0
地域環境	2.0
周辺環境	2.1

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
省エネルギーに配慮し、複層サッシ・屋上断熱防水・内断熱を組み合わせた建物とした。その他の基準に関しては、ほぼ一般レベルである。	0
Q1 室内環境 全ての建材はF☆☆☆☆もしくは規制対象外を使用した。また光・視環境に良好にした。	Q2 サービス性能 バリアフリー法に則り建物を計画した。維持保全レベルは標準的である。
Q3 室外環境(敷地内) 外壁・屋根等近隣住民から親しみが持てるような色使いをし、外部からも利用しやすい公園を配置した。	
LR1 エネルギー BEE値 0.75	LR2 資源・マテリアル 再生砕石やリサイクル品のビニル床シートを行うことにより再資源品の利用を促進する。
	LR3 敷地外環境 敷地緑化行い地表面が高温になるのを抑制した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される